

とおのを掘る 古代編

奈良時代

平安時代

遠野



墨書土器
いろは写房撮影



2026年5月2日(土)～11月3日(火)

遠野まちなか・ドキ・土器館

- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 月曜日 (祝日・振替休日の場合はその翌日)
お盆期間 (8月13日～16日)

入館料
無料

〒028-0524 岩手県遠野市新町5番3号 ☎0198-62-7820



公式「X」アカウント
@tonodokikan
<https://x.com/tonodokikan>

とおのを掘る③

これまで発掘調査された市内の主な遺跡を紹介します。今回は、発掘調査によって明らかになった遺構・遺物から奈良時代及び平安時代の遠野の様相について紐解きます。



調査区全景

【蓬田遺跡】遠野市松崎町蓬田

猿ヶ石川左岸の河岸段丘上の蓬田集落に位置する奈良時代及び中世の遠野を代表する集落遺跡です。遠野で初めて^{ちみ} 粉の^{あつこん} 圧痕を有する土師器や米を蒸すための甑、土製紡錘車、鉄斧、鉄鎌など豊富な遺物が出土しました。



奈良時代古墳出土須恵器短頸壺

【高瀬I・II遺跡】遠野市松崎町高瀬

松崎町高瀬集落にある奈良・平安時代の遺跡で、県営ほ場整備の際に県埋蔵文化財センター及び市教育委員会により調査されました。遺跡からは奈良時代の群集墳や直径10mにも及ぶ^{たてあな} 堅穴建物の^{たてもの}、平安時代の多量の^{ぼくしょ} 墨書土器や鉄製品、^{ひさし} 堅穴建物の^{ほったて} 掘立柱建物などが発掘され、9世紀の律令制度の上に成立した遠野の中心をなす遺跡です。



鉄製紡錘車

【遠野八幡遺跡】遠野市松崎町八幡

八幡山南面の河岸段丘上に営まれた集落遺跡です。宅地造成に伴う事前の発掘調査で発見された遺跡で、平安期の堅穴建物と古代の掘立柱建物、縄文時代の^{おとあな} 陥し穴遺構が発掘されました。9世紀後半期の堅穴建物からは本市で初の鉄製紡錘車2点が出土しました。



須恵器底部に記された「卍」の反転記号

【大久保遺跡】遠野市綾織町大久保

国道拡幅工事に先立ち発掘調査を実施しました。堅穴建物から寺の印である「卍」の反転記号の墨書土器が出土したことから注目された遺跡です。9世紀後半頃には仏教の流入があったことが^{うかが} 窺われる文字史料です。



出土した土師器・須恵器

【宮代IV遺跡】遠野市松崎町宮代

松崎の水田地帯を一望する水田面から30mもの高台に営まれた10世紀初頭の集落遺跡で、集落規模は不明ですが、堅穴建物、土師器や須恵器、墨書土器、羽^{すえき} 口、鉄滓や県内に数例しか出土していない大型の^{だいづき} 台付鉢が複数出土しました。



両面黒色処理高台付杯

【本宿遺跡】遠野市土淵町本宿

小烏瀬川の自然堤防上に営まれた9世紀後半～10世紀初頭の集落遺跡で、律令制度に組み込まれ成立した高瀬I・II遺跡とは異なり、在地性の強い遺物が出土した遺跡です。